

事業計画書

1. 総括表



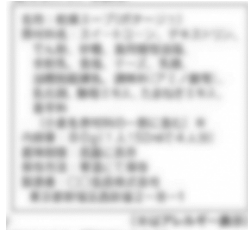
事業者名	株式会社		
所在地	長崎県		
代表者職・氏名	代表取締役	担当者名	
TEL	(会社の電話番号)	FAX	
電子メール	(担当者の連絡先)		

2. 他の支援制度の活用状況等

有人国境離島法に基づく雇用機会拡充事業の活用の有無（H29年度以降）	今後活用見込み（ 年度）
------------------------------------	--------------

本年度助成金等（予定含む）		（今年度受ける助成金について記入すること。予定含む）	
助成金の名称	助成機関名	助成内容	助成額 （千円）
市 補助金	市	商品の島外販路拡大に要する経費等	

3. 主力商品（複数ある場合はこのページをコピーして、作成してください）

商品の名称	うどん
商品写真	<p>パッケージ</p>  <p>調理例</p>  <p>食品表示</p>  <p>(など、商品がイメージできる写真を添付。)</p>
商品説明	<p>椿油を使用した手延べうどん。 一束100g×5束で販売。 2005年より販売を開始。2010年にパッケージをリニューアル。 売上は2015年まで右肩上がりだったが、以後、下降気味。 主に福岡県を中心とした九州圏内の店舗に卸している。</p>
月間生産量	1日に kg。月間で kgを生産。
売価（円）	円
原価（円）	円

4. 主力商品の主な販路（上位5社程度を記載）

販売先名	年間売上額 （千円）	売上全体に占める割合（％）
自社店舗		％
地域商社		％
株式会社（直接取引）		％

5. しまの地域商社との取引状況（取引がある場合、下記に記載ください）

商品名	取引量（月平均）	単位	年間売上額（千円）
うどん		袋	

しまの地域商社とは、（一財）対馬地域商社、（一社）壱岐市ふるさと商社、（一社）五島市物産振興協会、（一財）小値賀町担い手公社、（一社）新上五島町観光物産協会のことを指す。

6. 事業内容

<p>現状分析</p>	<p>商品開発または経営に関する課題を記載してください。</p> <p>主力商品の他に など、 種類の展開があり、九州圏内の百貨店棟で取り扱われている。競合における自社の強みは、 である。2010年のパッケージリニューアルでは売上向上に効果があったが、現在は売上も下降気味であり、改めて現代のニーズにあった、商品パッケージへリニューアルして売上拡大に臨みたい。デザインやマーケティングについてのアドバイスを求める。新商品開発については自社の魅力を客観的に判断された上で、アイデアから提案を求めたい。今までは、代表を中心に社員全員で新商品の企画を行っていたが、限界を感じている。現在、従業員は 名。平均年齢 歳である。代表の が何歳で、事業承継にも悩んでいる。</p>
<p>ビジョン</p>	<p>5年後、10年後どのような企業でありたいかを記載してください。</p> <p>今回の商品開発で九州圏内での販路を拡大し、5年後には売上 %増加を目指したい。関東での販路拡大については、現状は考えていない。</p> <p>10年後には、事業承継が完了し、新たなリーダーのもとで会社のさらなる成長を望んでいる。また、体力があれば、島内での飲食店舗展開も検討したい。</p>
<p>商品開発</p>	<p>どのような商品をつくりたいか具体的に記載してください。</p> <p>販路拡大を目的とした、既存の商品のパッケージリニューアル 椿油と小麦粉を使った新商品。主力商品と共に、現在の取引先にて展開が望める、より利益率の高い稼ぐ商品 島の原材料をつかい、島を代表する商品を作りたい。</p>
<p>販路拡大</p>	<p>開発した商品の販売拡大について具体的に記載してください。</p> <p>現在、営業人員は社内におらず、代表が直接営業活動を行っている。 においては島内に競合の商品も多く、歴史的にも、コンセプトを大事にして、既存の商品から大きくかけ離れた商品にはしたいとは考えていない。島内、県内ではなく、九州圏内で新たな市場を開拓したい。新商品の企画、アイデアの時点から、原材料と専門人材のマーケティングを軸に販路拡大のアドバイスをもらいたい。 の商品と一緒に納入していく事を考えている。</p>
<p>事業効果</p>	<p>新たな商品開発等により想定される事業効果を具体的に記載してください。</p> <p>パッケージのリニューアルにおいては、2010年のリニューアルで110%の成果を出したので、今回は130%の結果を目標としたい。生産量の拡大については、生産設備としては現在の1.5倍の生産力があるが、人員が不足しており、120%以上の売上拡大が見込めるのであれば、従業員数を増やしたい。</p>

7. 財務状況等

(単位：千円)

	1年前 (/ 期)	直近期末 (/ 期)
売上高		
売上原価		
売上総利益 (-)		
営業利益		決算報告書より 実数を記載
経常利益		
人件費		
設備投資額		
運転資金		
減価償却費		
付加価値額 (+ +)		
従業員数		
1人あたりの付加価値額 (÷)		
<p>以下 ~ に該当する場合、下欄にご記入ください。</p> <p>直近決算期まで3期連続で経常利益が赤字</p> <p>直近決算期末時点で債務超過</p> <p>創業又は設立後、決算を3期終了していない場合で、又は に相当すると認められる場合 該当する(該当番号:)</p> <p>【原因と今後の方針】</p>		

計画は会社の決算年度に対応して記入。(例)2019年3月決算分 (19/3期)

直近事業年度の実績記入は、提出する決算書の数字と整合するように記入。

- ・売上高、営業利益...決算書の数字と一致
- ・人件費 ... 決算書上の給与、賃金、福利厚生費、役員報酬等(製造原価報告書中のものも含む)と一致
- ・減価償却費 ... 決算書上の販売費・一般管理費中の減価償却費と、製造原価報告書中の減価償却費との合計